



手を洗おう



消毒しよう



うがいをしよう



マスクをしよう



換気をしよう



うちで過ごそう

## 新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和4年9月15日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和4年10月12日（水）からオーダ開始しました。

## <予告>散剤・液剤の製剂量処方への移行のお知らせ

これまで当院では散剤・液剤処方時は、製剤に含まれる有効成分量（mg、mLなど）による成分量処方で運用を行っていましたが、令和5年2月より製剂量（g、mL）処方に統一した運用に変更となる予定です。これに伴い入力単位及び一部の薬剤名の表示が変更になります。また、運用前の処方の流用ができなくなります。

例

	薬剤名	1日量	用法
現行	ウルソ顆粒 50 mg/g	150 mg	1日3回食後
運用変更後	ウルソ顆粒 5%	3 g	1日3回食後

製剂量処方開始後の処方入力時は、投与量に間違いがないか十分ご注意ください。

## 「セファランチン注 10 mg」自主回収のお知らせ

その他の個々の器官系用医薬品「セファランチン注10 mg」につきまして、無菌ろ過充填後の薬液の工程管理（微生物限度）に不備があることが判明しました。全てのロットで各出荷判定試験に適合することが確認されていますが、各々の製品品質への影響がないことを完全に否定できないことから、該当ロットが自主回収となりました。

つきましては、院内に在庫されている「セファランチン注10 mg」で対象ロットの製品がございましたら、至急薬剤部までご返却ください。

当院において対象ロットの製品はすでに使用済みですが、本件に起因すると考えられる有効性の欠如、及び副作用発現の報告はありません。

## 「カロナール錠 200」の入荷状況について

解熱鎮痛剤「カロナール錠200」につきまして、新型コロナウイルス感染症の影響等により、想定を超える需要の継続から、全国的に安定供給が厳しい状況が続いております。そのため、本剤につきましては限定出荷となっております。

このことは当院においても例外ではなく、月々の納品数が限定されており、厳しい入荷状況が続いております。

このような状況下で、PTP包装品だけでは一時的に欠品となる可能性がございましたので、バラ包装品も購入し払出しを致します。そのためPTP包装品とバラ包装品が混在する時期が生じますのでご注意ください。

なお、可能な場合は他の薬剤への切替や、漫然とした使用を避け必要最小限の処方をお願いします。状況によりましては、薬剤部から処方変更をお願いする場合があります。ご協力よろしくをお願いします。

## 「アストミン錠 10 mg」院内オーダー一時停止のお知らせ

鎮咳剤「アストミン錠10 mg」につきまして、新型コロナウイルス感染症の影響等により、想定を超える需要の継続から、全国的に安定供給が厳しい状況が続いております。そのため、本剤につきましては限定出荷となっております。当院においても例外ではなく、月々の納品数が限定されており、厳しい入荷状況が続いております。

このような状況の中、入荷できる限り処方オーダーを継続しておりましたが、この度、院内在庫が欠品する状況となったため、9月29日より院内処方オーダーを一時停止しました（※院外処方可能）。

なお、本剤の当院採用代替薬は以下の薬剤となっておりますが、処方が集中した場合には、本剤と同様に入荷が困難となる可能性が非常に高いため、処方薬を分散し、漫然とした使用を避け、必要最小限の処方をお願いします。状況によりましては、薬剤部から処方変更をお願いする場合があります。ご協力よろしくお願いします。

### 【当院採用の代替薬】

コデインリン酸塩散1%「第一三共」

メジコン配合シロップ

フスタゾール糖衣錠10 mg

アスベリン錠10、アスベリン散10%

## 「カロナール細粒 20%」の院内オーダー一時停止について

解熱鎮痛剤「カロナール細粒20%」につきまして、新型コロナウイルス感染症の影響等により、想定を超える需要の継続から、全国的に安定供給が厳しい状況が続いております。そのため、本剤につきましては限定出荷となっております。当院においても例外ではなく、月々の納品数が限定されており、厳しい入荷状況が続いております。

このような状況の中、入荷できる限り処方オーダーを継続しておりましたが、この度、院内在庫が欠品する状況となったため、9月30日より院内処方オーダーを一時停止致します（※院外処方可能）。

なお、本剤の当院採用代替薬は以下の薬剤となっておりますが、処方が集中した場合には、本剤と同様に入荷が困難となる可能性が非常に高いため、処方薬を分散し、漫然とした使用を避け、必要最小限の処方をお願い致します。状況によりましては、薬剤部から処方変更をお願いする場合があります。ご協力よろしくお願いします。

### 【当院採用の代替薬】

カロナール錠500（9月30日から粉碎化・小数入力可能）

アセトアミノフェン坐剤小児用100mg/200mg「シオエ」

NSAIDs等、他の解熱鎮痛剤

## 「ビーエスエスプラス 500 眼灌流液 0.0184%」(バッグ製剤) 自主回収のお知らせ

オキシグルタチオン眼灌流・洗浄液「ビーエスエスプラス500眼灌流液0.0184%」(バッグ製剤)につきまして、オキシグルタチオン溶液中に異物が確認されました。調査の結果、無菌製造エリアの環境の一部に不備があることが判明し、製品品質に影響を及ぼす可能性を否定できないことから該当ロットが自主回収となりました。

つきましては、院内に在庫されている「ビーエスエスプラス500眼灌流液0.0184%」(バッグ製剤)で対象ロットの製品がございましたら、至急薬剤部までご返却ください。

当院において対象の製品はすでに使用済みですが、現在までに本件に起因すると考えられる有効性の欠如及び健康被害の報告はありません。

## 効能・効果、用法・用量追加等のお知らせ

※改訂部抜粋、下線部追加又は改訂

### ◎HMG注射用150単位「F」(一般名:ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン)＜ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン剤＞

【効能・効果】生殖補助医療における調節卵巣刺激

【用法・用量】通常、卵巣刺激ホルモンとして150又は225単位を1日1回皮下又は筋肉内投与する。患者の反応に応じて1日450単位を超えない範囲で適宜用量を調節し、卵巣が十分に発育するまで継続する。

### ◎アービタックス注射液100 mg(一般名:セツキシマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(抗ヒトEGFRモノクローナル抗体)＞

【用法・用量】1週間間隔投与の場合：通常、成人には、セツキシマブ(遺伝子組換え)として、初回は400 mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を2時間かけて、2回目以降は250 mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を1時間かけて1週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜減量する。

2週間間隔投与の場合：通常、成人には、セツキシマブ(遺伝子組換え)として、500 mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を2時間かけて2週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜減量する。

### ◎カルボプラチン点滴静注液50 mg、150 mg、450 mg「NK」(一般名:カルボプラチン)＜抗悪性腫瘍剤＞

【用法・用量】＜乳癌＞

PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌に対するペムブロリズマブ(遺伝子組換え)及びゲムシタピン塩酸塩との併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、1日1回AUC2 mg・min/mL相当量を投与する。週1回投与を2週連続し、3週目は休薬する。これを1クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。

ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌に対する術前薬物療法として、ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)及びパクリタキセルとの併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、以下のいずれかの用法・用量で投与する。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。

・1日1回AUC5 mg・min/mL相当量を投与し、少なくとも3週間休薬する。これを1クールとし、4クールまで投与する。

・1日1回AUC1.5 mg・min/mL相当量を投与し、少なくとも6日間休薬する。週1回投与を3週連続し、これを1クールとし、4クールまで投与する。

### ◎キイトルーダ点滴静注100 mg(一般名:ペムブロリズマブ(遺伝子組換え))

＜抗悪性腫瘍剤(ヒト化抗ヒトPD-1モノクローナル抗体)＞

【効能・効果】ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスクの乳癌における術前・術後薬物療法

【用法・用量】通常、成人には、ペムブロリズマブ(遺伝子組換え)として、1回200 mgを3週間間隔又は1回400 mgを6週間間隔で30分間かけて点滴静注する。投与回数は、3週間間隔投与の場合、術前薬物療法は8回まで、術後薬物療法は9回まで、6週間間隔投与の場合、術前薬物療法は4回まで、術後薬物療法は5回までとする。

【効能・効果】進行又は再発の子宮頸癌

【用法・用量】※根治切除不能又は転移性の腎細胞癌、PD-L1陽性のホルモン受容体陰性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌と同じ

### ◎トビエース錠4 mg(一般名:フェソテロジンフマル酸塩)＜過活動膀胱・神経因性膀胱治療剤＞

【効能・効果】神経因性膀胱における排尿管理

【用法・用量】通常、体重25 kg超の小児にはフェソテロジンフマル酸塩4 mgを開始用量として1日1回経口投与する。投与開始から1週間後以降に、患者の状態に応じて1日1回8 mgまで増量できる。

### ◎パクリタキセル注30 mg/5mL、100 mg/16.7mL「NK」(一般名:パクリタキセル)＜抗悪性腫瘍剤＞

【用法・用量】進行又は再発の子宮頸癌にはシスプラチンとの併用でD法又は他の抗悪性腫瘍剤との併用でF法を使用する。

F法：通常、成人にはパクリタキセルとして、1日1回175 mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を3時間かけて点滴静注し、少なくとも3週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。

## 効能・効果、用法・用量追加等のお知らせ

※改訂部抜粋、下線部改訂

### ◎フィラジル皮下注 30 mg シリンジ(一般名:イカチバント酢酸塩)

#### <遺伝性血管性浮腫治療用選択的ブラジキニン B2 受容体ブロッカー>

【用法・用量】 通常、2歳以上の小児には体重に応じてイカチバントとして1回 10~30 mg を皮下注射する。効果が不十分な場合又は症状が再発した場合は、6時間以上の間隔において同用量を追加投与することができる。ただし、24時間あたりの投与回数は3回までとする。

【用法及び用量に関連する注意】 2歳以上の小児に対する1回あたりの本剤の投与量は、下表を参考にすること。  
2歳以上の小児に対する投与量

体重区分 <sup>注)</sup>	投与量 (薬液量)
12~25 kg	10 mg (1.0 mL)
26~40 kg	15 mg (1.5 mL)
41~50 kg	20 mg (2.0 mL)
51~65 kg	25 mg (2.5 mL)
66 kg 以上	30 mg (3.0 mL)

注) 体重は小数点以下第一位を四捨五入し整数とする。

### ◎メトグルコ錠 250 mg(一般名:メトホルミン塩酸塩) <ビグアナイド系経口血糖降下剤>

【効能・効果】 多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発、多嚢胞性卵巣症候群の生殖補助医療における調節卵巣刺激  
ただし、肥満、耐糖能異常、又はインスリン抵抗性のいずれかを呈する患者に限る。

【用法・用量】 <多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発>

他の排卵誘発薬との併用で、通常、メトホルミン塩酸塩として 500mg の1日1回経口投与より開始する。患者の忍容性を確認しながら増量し、1日投与量として 1,500mg を超えない範囲で、1日2~3回に分割して経口投与する。なお、本剤は排卵までに中止する。

【用法・用量】 <多嚢胞性卵巣症候群の生殖補助医療における調節卵巣刺激>

他の卵巣刺激薬との併用で、通常、メトホルミン塩酸塩として 500mg の1日1回経口投与より開始する。患者の忍容性を確認しながら増量し、1日投与量として 1,500mg を超えない範囲で、1日2~3回に分割して経口投与する。なお、本剤は採卵までに中止する。

### ◎リンヴォック錠 7.5 mg(一般名:ウパダシチニブ水和物) <ヤヌスキナーゼ阻害剤>

【効能・効果】 中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入及び維持療法 (既存治療で効果不十分な場合に限る)

【用法・用量】 導入療法では、通常、成人にはウパダシチニブとして 45 mg を1日1回8週間経口投与する。なお、効果不十分な場合はさらに8週間投与することができる。

維持療法では、通常、成人にはウパダシチニブとして 15 mg を1日1回経口投与する。なお、患者の状態に応じて 30 mg を1日1回投与することができる。

## 限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

※現在、他社製品の影響により、カルバペネム系抗生物質製剤全体の流通状況が非常に厳しくなっております。漫然とした使用を避け、適正使用にご協力をお願いします。

◎ウトロゲスタン膾用カプセル 200 mg(一般名:プロゲステロン) <天然型黄体ホルモン製剤>

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ③限定出荷 (他社品の影響)

◎アスパラカリウム錠 300 mg(一般名:L-アスパラギン酸カリウム) <Kアスパルテート製剤>

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷 (自社の事情)

◎チエナム点滴静注用 0.5 g(一般名:イミペネム水和物・シラスタチンナトリウム) <カルバペネム系抗生物質製剤>

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ③限定出荷 (他社品の影響)

◎デノシン点滴静注用 500 mg(一般名:ガンシクロビル) <抗サイトメガロウイルス化学療法剤>

出荷量: D. 出荷停止

◎ハロペリドール錠 0.75 mg、3 mg「アメル」(一般名:ハロペリドール) <抗精神病剤> ※3 mg は院外専用医薬品

出荷量: D. 出荷停止

◎ハロペリドール錠 1.5 mg、同細粒 1%「ヨシトミ」(一般名:ハロペリドール) <精神神経安定剤>

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ③限定出荷 (他社品の影響)

◎ミカファンギン Na 点滴静注用 50 mg「ニプロ」(一般名:ミカファンギンナトリウム) <キャンディン系抗真菌剤>

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷 (自社の事情)

◎リザベンカプセル 100 mg、同細粒 10%(一般名:トラニラスト)

<アレルギー性疾患治療剤、ケロイド・肥厚性瘢痕治療剤>

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ③限定出荷 (他社品の影響)

【参考情報】日薬連発第 297 号 『医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について』  
DI-EXPRESS (2022. 7) の「限定出荷等のお知らせ」からも確認可能

## 限定出荷等解除のお知らせ

◎ジェイゾフト錠 25 mg、50 mg(一般名:セルトラリン塩酸塩) <選択的セロトニン再取り込み阻害薬>

2022 年 8 月 8 日より出荷調整解除

◎ファンギゾン注射用 50 mg(一般名:アムホテリシンB) <ポリエンマクロライド系抗真菌性抗生物質製剤>

※臨時採用医薬品

2022 年 9 月 6 日より出荷調整解除

◎ムコサールドライシロップ 1.5%(一般名:アンブロキシオール塩酸塩) <気道潤滑去痰剤>

2022 年 9 月 1 日より出荷調整解除

## 禁忌追加・改訂のお知らせ

※追加部抜粋、下線部改訂

◎HMG注射用150単位「F」(一般名:ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン) <ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン剤>

【禁忌】活動性の血栓塞栓性疾患の患者 [症状が悪化するおそれがある。]  
本剤の成分に対する過敏症の既往歴のある患者

◎ゴナトロピン注用5000単位(一般名:ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン) <ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン製剤>

【禁忌】<無排卵症(不妊症)、生殖補助医療における黄体補充、生殖補助医療における卵胞成熟及び黄体化、一般不妊治療(体内での受精を目的とした不妊治療)における排卵誘発及び黄体化>  
活動性の血栓塞栓性疾患の患者 [症状が悪化するおそれがある。]

◎アジレクト錠0.5 mg、1 mg(一般名:ラサギリンメシル酸塩) <パーキンソン病治療剤(選択的MAO-B阻害剤)>

【併用禁忌】メタンフェタミン塩酸塩、マジンドール、アプラクロニジン塩酸塩

◎パルタンM錠0.125 mg(一般名:メチルエルゴメトリンマレイン酸塩) <子宮収縮止血剤>

【併用禁忌】ニルマトレビル・リトナビル

◎ホストイン静注750 mg(一般名:ホスフェニトインナトリウム) <抗けいれん剤>

【併用禁忌】ドラビリン、ルラシドン、ダルナビル・コビスタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミド、カボテグラビル

## 禁忌削除のお知らせ

※削除部抜粋

◎パルタンM錠0.125 mg(一般名:メチルエルゴメトリンマレイン酸塩) <子宮収縮止血剤>

【禁忌】ネルフィナビルメシル酸塩(販売中止)

◎ホストイン静注750 mg(一般名:ホスフェニトインナトリウム) <抗けいれん剤>

【禁忌】ダクラタスビル・アスナプレビル・ベクラブビル(販売中止)

## 警告改訂のお知らせ

※下線部改訂

◎HMG注射用150単位「F」(一般名:ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン) <ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン剤>

◎ゴナトロピン注用5000単位(一般名:ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン) <ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン製剤>

【警告】本剤を用いた不妊治療により、脳梗塞、肺塞栓を含む血栓塞栓症等を伴う重篤な卵巣過剰刺激症候群があらわれることがある。

## 「ラゲブリオカプセル200 mg」薬価基準収載のお知らせ

抗ウイルス剤「ラゲブリオカプセル200 mg」につきまして、2022年8月18日に薬価基準収載となり、2022年9月16日から一般流通が開始となりました。

なお本剤は、特例承認のCOVID-19治療薬であるため、本剤の処方には、電子添文の「本剤の使用に当たっては、あらかじめ患者又は代諾者に、その旨並びに有効性及び安全性に関する情報を十分に説明し、文書による同意を得てから投与すること」の記載に従い、引き続き、担当医師からの説明と患者又は代諾者からの同意書の取得が必要となります。

## 適正使用に関するお知らせ

### ◎メトグルコ錠 250 mg(一般名:メホルミン塩酸塩)＜ピグアナイド系経口血糖降下剤＞

本剤は、2010年より2型糖尿病を適応症として販売しており、妊婦及び妊娠している可能性のある女性は禁忌となっております。動物実験で胎児への移行及び催奇形性が報告されているほか、妊婦は乳酸アシドーシスを起こしやすいことが知られており、電子化された添付文書等で注意喚起を行っております。

新たに承認された適応症（多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発、多嚢胞性卵巣症候群の生殖補助医療における調節卵巣刺激）におきましても、本剤を適正に使用していただくようお願いいたします。

- ・不妊治療に十分な知識と経験を有する医師のもとでご使用ください。
- ・本剤は、承認された効能又は効果に対して本剤の使用が適切と判断される場合にのみご使用ください。妊娠初期の投与を避けるため、排卵又は採卵までに本剤の投与を中止してください。
- ・電子化された添付文書、インタビューフォームのほか、最新のガイドライン等を参照し、本剤の有効性及び安全性を十分に理解した上で、適正にご使用ください。
- ・本剤の使用により乳酸アシドーシスなどの重大な副作用が報告されています。患者向け資料（患者向医薬品ガイド、くすりのしおり等）などにより、予測されるリスクや副作用の初期症状などをあらかじめ患者さんにご説明のうえご使用ください。

### ◎プロタミン硫酸塩静注 100 mg「モチダ」(一般名:プロタミン硫酸塩)＜ヘパリン拮抗剤＞

本剤につきまして、ショック、アナフィラキシーの副作用が報告されています。2021年9月の適正使用情報配布以降も継続的にショック等の副作用が報告されていることから、あらためて本剤の適正使用をお願いします。

添付文書の【禁忌】、【使用上の注意】の「慎重投与」及び「重要な基本的注意」の項に記載しているとおり、本剤及びプロタミン含有インスリン製剤の投与歴のある患者におかれては、プロタミンに感作されている可能性があります。そのため、このような患者に本剤を投与すると、ショック等のリスクが上昇するとの報告があります。

本剤を使用される際には、下記の点にご留意ください。

以下に該当する場合は、ショック等の発現にご留意ください。

- ・本剤投与歴あり
- ・プロタミン含有インスリン製剤投与歴あり
- ・アレルギー素因あり

また、投与の際にはゆっくり静脈内投与を行ってください。

## 包装変更等のお知らせ

### ◎トリーバ注フレックスタッチ(一般名:インスリン デグルデク(遺伝子組換え))

＜持効型溶解インスリンアナログ注射液＞

### ◎フィアスプ注フレックスタッチ(一般名:インスリン アスパルト(遺伝子組換え))＜超速効型インスリンアナログ注射液＞



- ・突起部の追加
- ・単位合わせダイヤル形状の変更
- ・段差の追加

### ◎ファンギゾン注射用 50 mg(一般名:アムホテリシン B)＜ポリエンマクロライド系抗真菌性抗生物質製剤＞

※臨時採用医薬品

	変更前	変更後
高さ	63 mm	54 mm
キャップ	フリップオフキャップ 黄色、印字あり	フラッシュキャップ 緑色、無地
ゴム栓		色と形状が変更

## 医薬品・医療機器等安全性情報 No. 395

### ★リオシグアトとHIVプロテアーゼ阻害剤の併用に関する「使用上の注意」の改訂について

令和4年8月30日に開催された令和4年度第10回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会での審議を踏まえて、リオシグアトとヒト免疫不全ウイルスプロテアーゼ阻害剤（リトナビル、ロピナビル・リトナビル、アタザナビル硫酸塩）の禁忌及び併用禁忌等の見直しを行ったので、その内容を紹介する。

### ★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介する。

#### ◎ラムシルマブ（遺伝子組換え）（商品名：サイラムザ点滴静注液100 mg、500 mg）

＜抗悪性腫瘍剤（ヒト型抗VEGFR-2モノクローナル抗体）＞

【重大な副作用】 血栓性微小血管症

※当該症例 6 例（うち死亡 0 例） 直近約 3 年度

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<https://www.mhlw.go.jp/>）から確認可能。

☆Drug Safety Update No. 311 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
ヒドキシクロキシン硫酸塩（プラケル錠）	※重大な副作用：追記 肝機能障害：AST、ALT、 $\gamma$ -GTP の上昇等を伴う肝機能障害があらわれることがある。
ラムシルマブ（遺伝子組換え）（サイラムザ点滴静注液）	※重大な副作用：追記 血栓性微小血管症：破碎赤血球を伴う貧血、血小板減少、腎機能障害等が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。



## &lt;別紙&gt;新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

## 【1】新規採用依頼医薬品

## ①常備医薬品(合計4品目)

2022年10月12日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	オムニバーク240(脳槽・脊髄用) 721	注	10mL	-	466.0	GEヘルスケアファーマ	Iohexol 非イオン性造影剤 ★コンピュータ断層撮影による脳槽造影に適応をもつ常備医薬品のオムニバーク180注10mL(脳槽・脊髄用)が販売中止となるため、同様の適応を有する本剤が必要となる 【発売:1987/10】
1	ケレンティア 219	錠	10mg	-	149.1	ハイエル薬品	Finerenone 2型糖尿病合併慢性腎臓病治療剤 (非ステロイド型選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬) ★本剤は非ステロイド型選択的ミネラルコルチコイド受容体(MR)拮抗薬であり、炎症及び線維化等を引き起こすMRの過剰活性化を抑えることで心血管・腎臓障害を抑制する ★2型糖尿病を合併する慢性腎臓病患者において、腎複合エンドポイント及び心血管複合エンドポイントの発現リスクを低下させる ★重大な副作用として、高カリウム血症(8.8%)が報告されている ※院外専用医薬品としてケレンティア錠20mgの申請あり 【発売:2022/6/2】
1	ブコラム口腔用液 113	外用	5mg	向	1977.8	武田薬品工業	Midazolam 抗けいれん剤 ★本剤は、国内初のミダゾラム類粘膜投与のプレフィルド「シリンジ」で、医療従事者/介護者による投与が可能である ★小児けいれん重積治療ガイドライン2017において、日本での病院初期治療に位置づけられている。英国のNICEガイドラインでは、病院前治療及び病院初期治療に位置づけられている ★けいれん重積時に院外で使用できる薬は本剤のみであり、これまで使われてきたダイアップ座薬ではけいれん抑制の効果を発揮できるまでに20-30分かかり、重積時の使用は推奨されていない ※同成分薬:ブコラム口腔用液2.5mg、7.5mg、10mgが臨時採用医薬品として採用あり ※使用量が多いため、臨時採用から常備へ 【発売:2020/12/10】
1	ミネプロド 214	錠	2.5mg	-	91.6	第一三共	Esaxerenone 高血圧症治療剤(選択的ミネラルコルチコイド受容体ブロッカー) ★唾液で服用可能な口腔内崩壊錠 ★普通錠と同薬価 【発売:2022/5/25】

## ②救急用医薬品(合計1品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
2	オンテキサ静注用 339	注	200mg	-	338,671.0	アストラゼネカ株式会社	Andexanet Alfa (Genetical Recombination) 直接作用型第Xa因子阻害剤中和剤 ★心房細動の治療薬として第Xa因子阻害剤が広く用いられているが、これまでは第Xa因子阻害剤投与で生命を脅かす出血または止血困難な出血が発現した場合に、第Xa因子阻害剤に対する中和剤がなかった ★「不整脈薬物治療ガイドライン(2020年改訂版)」では、心房細動患者における抗凝固療法中の出血時の対応において、早急にXa阻害薬の効果を是正する必要がある場合には本剤投与が推奨されるとの記載あり 【発売:2022/5/25】

## ⑥臨時採用医薬品(合計4品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	タブネオス 399	cap	10mg	-	1,403.9	キッセイ薬品工業	Avacopan ANCA関連血管炎治療剤(選択的C5a受容体拮抗薬) ★補体活性化の最終段階で産生されるC5aRを選択的に阻害する経口薬である ★本剤はANCA関連血管炎における寛解導入に際してステロイドと非劣性、ステロイドの総投与量減少効果を示している 【発売:2022/6/7】
6	ハーセプチン注射用 429	注	150	ハイリスク	34,670.0	中外製薬	Trastuzumab (Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤(抗HER2ヒト化モノクローナル抗体) ★「HER2陽性の根治切除不能な進行・再発の唾液腺癌」に対し効能効果が追加となった(2021/11/25) ★当院常備採用のバイオシマールには上記適応がない ※常備医薬品にバイオシマールのトラスツマブBS点滴静注用「NK」の採用あり ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2001/6/1】

6	ユルトミスHI点滴静注 639	注	300mg/3mL	劇	699,570.0	アレクシオンファーマ 合同会社	Ravulizumab(Genetical Recombination) 抗補体(C5)モノクローナル抗体製剤 ★発作性夜間ヘモグロビン尿症、非典型型溶結性尿毒症症候群、全身型重症筋無力症に適応を有する。 ★本剤は、エクスマブ(商品名:ソリス)の誘導体で、エクスマブ骨格に8個のアミノ酸置換を導入することで <i>in vivo</i> での半減期を延長するようデザインされている ★ソリスと比較して維持療養中の通院間隔が延長できる。(ソリス:2週間に1回、ユルトミス:4 or 8週間に1回) ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2021/12/1】
6	レベスティブ 249	皮下注	3.8mg	劇	79,302.0	武田薬品工業	Teduglutide(Genetical Recombination) 短腸症候群治療薬(GLP-2アナログ製剤) ★短腸症候群治療薬として開発された天然型ヒトグルカゴン様ペプチド-2(GLP-2)の遺伝子組換えアナログ製剤(皮下注射)である ★本薬剤は短腸症候群に対して初めて適応がある新規薬剤であり他の薬剤で代用はできない ★腸管でのIGF1分泌を促進することで腸管絨毛が伸長し、吸収表面積を増加させることで栄養吸収が改善し、脂肪製剤の定期投与を減量あるいは離脱できる可能性が期待できる 【発売:2021/8/18】

⑦院外専用医薬品(合計6品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	ケレンディア 219	錠	20mg	-	213.1	ハイエル薬品	Finerenone 非ステロイド型選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬 ※常備医薬品としてケレンディア錠10mgの申請あり 【発売:2022/6/2】
7	ジスバル 119	cap	40mg	劇	2,331.2	田辺三菱製薬	Valbenazine Tosilate 遅発性ジスキネジア治療剤(VMAT2阻害剤) ★小胞モノアミトランスポーター2(VMAT2)阻害作用をもつ本邦初の遅発性ジスキネジア治療剤 ★本剤投与により遅発性ジスキネジア患者における異常不随意運動の改善効果が認められた ★遅発性ジスキネジアに対して有効な薬剤が他にない、向精神薬の調整にて対応できない患者への治療効果が期待できる 【発売:2022/6/1】
7	セジューラ 429	錠	100mg	劇 ハイリスク	10,370.2	武田薬品工業	Niraparib Tosilate Hydrate 抗悪性腫瘍剤(ポリ(ADP-リナーゼ)ニリン酸リボースホリメラーゼ(PARP)阻害剤) ★冷所(2-8℃)・遮光保存が必要だった「セジューラカプセル100mg」と比較して、本剤は冷所遮光保存の必要性がなく、常温保存が可能である ★病院や薬局での管理の点から、また患者さんが保冷ボックスを携帯する必要がなくなる利便性の観点から、錠剤へ移行するメリットあり ★生物学的同等性試験及び溶出試験の結果から、セジューラカプセルとの生物学的同等性が示されている 【発売:2022/6/29】
7	ビオスリー配合OD 231	錠	ラクトミン 2mg 酪酸菌 10mg 糖化菌 10mg	-	5.7	東亜新薬	Lactomin, Butyric Acid Bacteria, Amyolytic Bacillus 活性生菌製剤 ★糖化菌(好気性菌)、乳酸菌(通性嫌気性菌)、酪酸菌(偏性嫌気性菌)という酸素感受性の異なる三種の活性菌を含有し、小腸から大腸まで作用する ★本剤は医療用整腸剤の中で現在唯一のOD錠剤形を有する整腸剤であり、高齢者や小児等の嚥下困難のある患者への服薬利便性の向上に有用である ★現在本院では錠剤系の取り扱いがないため、散剤を嫌がる患者への選択肢にもなる 【発売:2016/2/18】
7	プリモホラン 244	錠	5mg	-	12.2	ハイエル薬品	Metenolone Acetate 経口蛋白同化ステロイド剤 ★ケレンディア錠10mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更する 【発売:1962/11/1】
7	モイセルト軟膏1% 269	外用	10g/本	-	152.1/g	大塚製薬	Difamilast ATP <sup>γ</sup> -性皮膚炎治療剤(PDE4阻害剤) ★ホスホジエステラーゼ4(PDE4)の酵素活性を選択的に阻害して抗炎症作用を示す、本邦初の外用PDE4阻害剤である ★ATP <sup>γ</sup> -性皮膚炎の治療はステロイド外用薬が基本となるが、長期使用により副作用を生じ得る。非ステロイド系の外用薬としてタクロリムス、デルゴシニブについて今回新しく本剤が発売され、前2剤で効果不十分だった患者に有用と期待される ★軽症から中等症のATP <sup>γ</sup> -性皮膚炎の症状を改善する 【発売:2022/6/1】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計3品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	オムニパーク180	注	10mL	-	オムニパーク240注10mL採用の場合、削除
7	ガスター-D	錠	10mg	-	ビオスリー配合OD錠採用の場合、削除 ※同成分薬:ファモチジンOD錠10mg「トロー」が常備医薬品として採用あり
1	サリンハス輸液6%	注	500mL	-	プロコム口腔用液5mg採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計12品目)

2022年10月12日に削除または移行予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
11	アーリーダ	錠	60mg	劇 ハイリスク	使用しなくなったため削除 ※院外専用医薬品として採用あり
1	オメガゾール「トール」	錠	10mg	-	カログラ120mg採用のため、削除
11	クロラムフェニコール0.5%「ニットー」	点眼	5mL/本	-	使用しなくなったため削除
11	コンサータ	錠	27mg	劇 向	使用しなくなったため削除 ※院外専用医薬品として採用あり
7	ゼンジュラ	cap	100mg	劇 ハイリスク	ゼンジュラ錠100mg採用のため、削除
11	ノキサフィル点滴静注	注	300mg	劇	使用しなくなったため削除
11	バイクロット配合静注用	注	活性化人血液凝固第Ⅶ因子1.56mg 人血液凝固第Ⅹ因子15.6mg	特生	使用しなくなったため削除
1	フラビタン	錠	5mg	-	アロカリス点滴静注235mg採用のため、削除
1	プリモホラン	錠	5mg	-	ケレンティア錠10mg採用のため、区分7へ移行
1	フロムヘキシン塩酸塩「日医工」	錠	4mg	-	リフヌア錠45mg採用のため、削除
1	ミネプロ	錠	2.5mg	-	ミネプロOD錠2.5mg採用のため、削除
1	ルセニテス硝子体内注射用キット	注	10mg/mL	劇	ハビースモ硝子体内注射液120mg採用のため、削除

【4】報告事項

1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

①緊急使用医薬品(合計5品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	チラーチンS静注液 243	注	200μg	劇	20,192.0	あすか製薬	Levothyroxine Sodium Hydrate 甲状腺ホルモン製剤 ★国内初の静脈投与可能な甲状腺ホルモン製剤 ★甲状腺で合成・分泌される甲状腺ホルモン(T4及びT3)の不足や欠乏(粘液水腫性昏睡や甲状腺機能低下症など)に対するT4補充に用いられる 【発売:2020/6/29】
11	ハーセプチン注射用 429	注	150	ハイリスク	34,670.0	中外製薬	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	バスボンサ点滴静注用 423	注	1mg	劇 ハイリスク	1,331,297.0	ファイザー	Inotuzumab Ozogamicin (Genetical Recombination) 抗悪性腫瘍剤(抗腫瘍性抗体結合抗CD22モノクローナル抗体) ★ヒト化抗CD22モノクローナル抗体(イノツズマブ)に、オゾガマイシン(細胞傷害性抗腫瘍性抗体結合剤)のリンカーを介して共有結合させた抗体薬物複合体(ADC)である ★CD22陽性細胞に特異的に送達され、細胞内に取り込まれた後にカリケアマイシン誘導体を遊離し、CD22陽性細胞のアポトーシスを誘導する 【発売:2018/4/18】
11	ユルトミスHI点滴静注 639	注	300mg/3mL	劇	2,565,090.0	アレクシオンファーマ合同会社	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	レキニール HCa 2.5 腹膜透析液 342	注	5000mL	-	1,988.0	バクスター	腹膜透析用剤 ★常備採用の1.5%濃度の腹膜透析液では、十分な除水が困難であり、2.5%濃度の本剤によって必要な除水が得られ、適正な体液管理が可能となる ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2014/2/14】

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)販売中止に伴う代替薬の採用について

ピコスルファートナトリウム内用液0.75%「GHOS」(81.0円/本) → ピコスルファートナトリウム内用液0.75%「JG」(81.0円/本) 2022年9月2日切替済

3)供給停止に伴う処方オーダー時停止について

ウロナーゼ静注用6万単位(4025.0円) → 2022年7月26日オーダー時停止(代替薬なし)

ピーゼットシー糖衣錠2mg(9.4円) → 2022年8月3日オーダー時停止(代替薬なし)  
※院外専用医薬品

4)出荷調整解除に伴う処方オーダーの再開について

2021年3月11日オーダー時停止 ※特定の疾患を除く → リュープリンSR注射用キット11.25mg(49710.0円) 2022年9月2日オーダー再開

5)PTP包装供給停止に伴うバラ包装の代替購入について

カルバマゼピン錠100mg「アメル」(5.7円) ※PTP包装 → カルバマゼピン錠100mg「アメル」(5.7円) ※バラ包装 2022年9月7日払出し開始

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)